

平成 31 年度

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

博士前期課程 2次募集（芸術工学専攻）

入学試験問題

小論文（60分）

【注意事項】

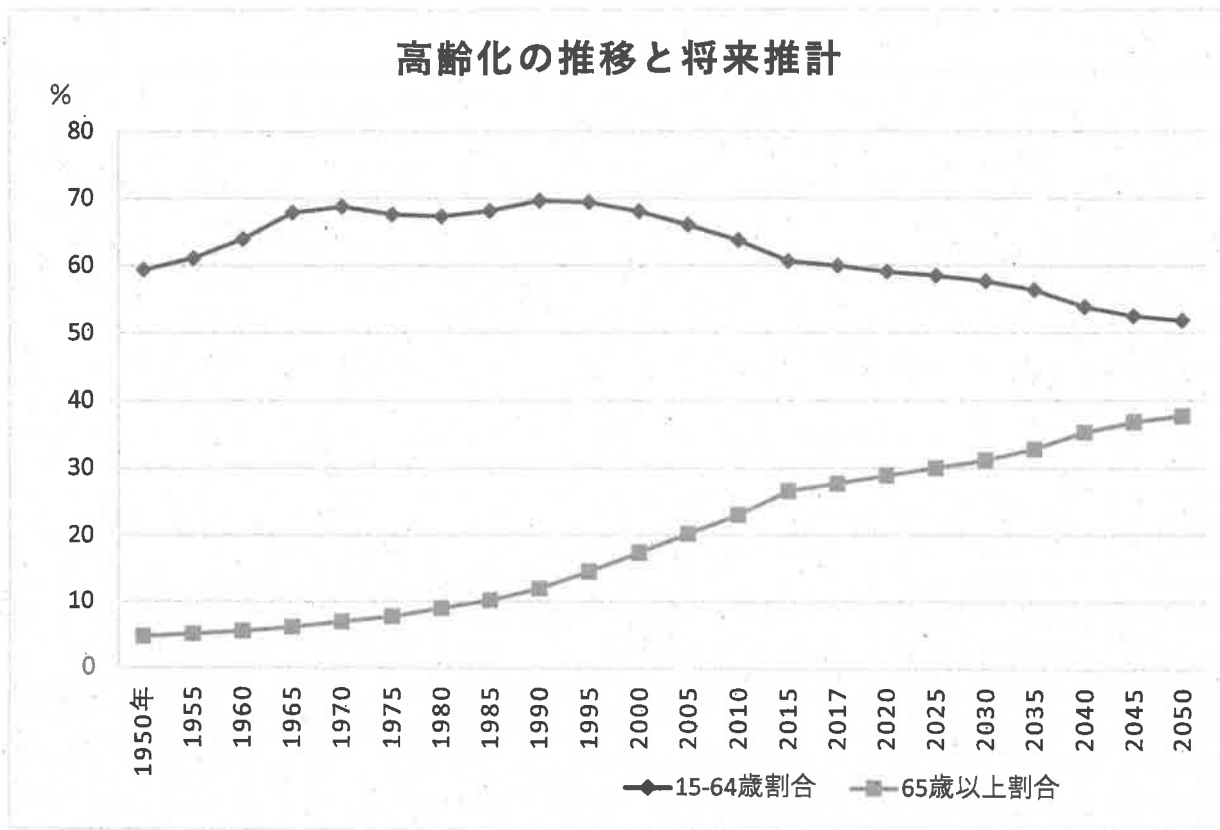
- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は表紙を含め4枚あります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答用紙は1枚配布します。
解答用紙が不足する場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
解答用紙のそれぞれに、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 この冊子のどのページも切り離してはいけないが、余白等は適宜利用してもかまいません。
- 5 試験終了後、問題冊子は回収します。問題冊子は持ち帰ってはいけません。

小論文

【設問】

日本における「高齢化率」（65歳以上人口割合）は、2016年に27.3%になり、全人口の4人に1人以上が「高齢者」となった（資料1参照）。高齢になると、さまざまな生活面での不便さに直面するようになる。たとえば、資料2に挙げられているような「不便さ」がある、という。

以上を踏まえて、高齢化社会において、高齢者のひとびとに求められる製品やサービスをめぐって、どのような「デザイン」が望まれるのか、600字から800字で、具体的に論じなさい。



資料1：内閣府『平成29年度版 高齢社会白書（全体版）』図1-1-4により作成。

高齢者の不便さ事例

	不便さの内容
商品	<ul style="list-style-type: none"> ・機能が多すぎて覚えられない。 ・表示が見にくい。 ・操作手順がわかりづらい。 ・ビン、缶、パック容器が開けづらい。 ・重くて持ち歩きにくい（掃除機、ポット、炊飯器など）。 ・皮膚感覚が弱くて持ちにくい（携帯電話など）。
設備	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の高さが自分の身体に合っていない。 ・ガスや電気を消し忘れることがある。 ・トイレや風呂場が寒い。 ・風呂が滑りやすい。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・外出しても休めるいすなどが少ない。 ・エスカレーターの乗り降りが怖い。 ・駅の表示物は文字が小さかったりコントラストが弱くて見づらい。 ・階段や段差がづらいし、転んでけがをする。
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・車内放送が小さくて聞こえない。 ・冷暖房が効きすぎているように感じる。 ・早口だと理解しにくい。

原出典：「高齢者の不便さ調査報告書」E&Cプロジェクト、1996年4月。

資料2：ユニバーサルデザイン研究会編『ユニバーサルデザイン

超高齢社会に向けたモノづくり』日本工業出版、2002年（改訂版）、p.10。